

科目	都市計画 (Urban Planning)		
担当教員	橋本 渉一		
対象学年等	都市工学専攻・1年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-4(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	都市の成り立ちについて歴史的に把握し、都市計画法・建築基準法を学ぶことにより、我が国の都市計画の政策、動向について理解する。都市計画による実践例を学び、現代都市のかかえる課題および将来への計画方針、手法について理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-4】都市の歴史的発展が理解できる。		都市の歴史的発展が理解できているか、中間試験で評価する。
2	【A4-4】区域区分・地域地区・用途地域が理解できる。		区域区分・地域地区・用途地域が理解できているか、中間試験で評価する。
3	【A4-4】都市形成と交通体系との関係が理解できる。		都市形成と交通体系との関係が理解できているか、期末試験で評価する。
4	【A4-4】市街地の面的整備が理解できる。		市街地の面的整備が理解できているか、期末試験で評価する。
5	【A4-4】公共空間・公園が理解できる。		公共空間・公園が理解できているか、期末試験で評価する。
6	【A4-4】環境計画・防災計画・景観が理解できる。		環境計画・防災計画・景観が理解できているか、期末試験で評価する。
7			
8			
9			
10			
総合評価	到達目標1～2に対しレポートおよび中間試験で、到達目標3～6に対しレポートおよび期末試験で評価する。レポート20%、中間・期末試験80%で総合評価する。		
テキスト	都市計画[第2版]、樽木武(森北出版)		
参考書	都市計画、新谷他(コロナ社) 図説都市地域計画、青山(丸善) 都市計画教科書第三版、都市計画教育研究会(彰国社)		
関連科目			
履修上の注意事項	本科「都市システム工学」を履修しているものとして、講義が進められる。		

